



和田の世帯数・人口

世帯数	1,518 戸
人口	4,231 人
男	2,059 人
女	2,172 人

(令和3年. 7.1現在)

昨年は新型コロナウイルスの影響で一斉休校など慌ただしく新年度が始まりましたが、今年はどうでしょうか。今年の4月に進学・進級された皆さんに、新生活はどんな様子かお聞きしました。

### 1ねんせいになつて

しょうがつこうで、あたらしいともだちができました。みなみにわであそぶのがたのしいです。うんていをがんばりたいです。

べんきょうは、さんすうがたのしいです。せんせいはやさしいです。

きゅうしよくは、おいしいです。きゅうしよくとうばんは、ぎゅうにゅうをはこぶのはおもいけどがんばっています。

そうじは、6ねんせいといっしょにやります。

しゅくだいの、ひらがなをじょうずにかけるように、がんばりたいです。

1ねん1くみくわはらみらい

### 中学生になつて

中学校生活で力を入れたいことは、「勉強」です。

僕は、小学校のころから漢字が苦手でした。中学校では、もっと難しい漢字が増えてくるので、がんばって努力して覚えたいです。

漢字以外でも、中学校の勉強は難しくなっていくので、苦手意識を持たずに取り組んでいきたいです。

T・M

### 新学期を迎えて

僕はコロナ禍の状況で始まった高校生活が2年目を迎えました。僕は部活でテニスをやっており、昨年のある大会では、団体戦で全国ベスト16という結果を出しました。

そんな中、昨年までは1年生だった僕も2年生となり、追う立場でもあり、追われる立場にもなりました。2年生という学年は学習面での事はも

### 大学生になつて

私はこの春から大学生になりました。学生生活を楽しみにしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で5月からオンライン授業になってしまい、学校に行くことができなくなってしまいました。楽しみにしていたサークルも無くなりとても残念です。まだこの状況が続くと思うと、学習や生活など様々な事への不安が大きくなります。ですが、その中でも自分ができることを見つけ、日々成長していきたいと思えます。

S・O

### 花火のチカラ

子供の頃、遠くで打ち上がる花火を一人で見るのが楽しみでした。打ち上がる音を頼りに外まで走り、田んぼ道へ座り、月明かりの下で見た花火。その花火は、大きく開き、光輝き、とてもキレイだったのを今でも覚えています。その時に見たようなキレイな花火を作りたくて、私は花火の仕事をしています。

花火は日本の文化であり、困難なことが起きた時にこそ、希望の象徴になるように、花火は打ち上げられてきました。

慰霊・平和・復興

祈りや願いを込めて打ち上げが始まった花火大会はいくつもあります。希望の象徴という言葉を使いましたが、それには理由があります。打ち上がる花火を見る時は必ず顔を上げて見ます。下を向いていては見えないということですから。起きてしまったことでもつまでも下を向かず、顔を上げて、希望を持ち、前に進む。そういうことが大事なので

今この世の中でも同じ。花火を見たからといって、何

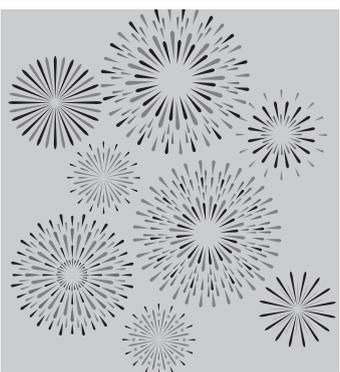
かが急に変わることはないかもしれませんが。ですが、前へ進む気持ちが集まり、協力し合えば、困難を乗り越えられるような大きなチカラになるのではないのでしょうか。

花火には、そういった不思議なチカラがあると思っています。

今は人が集まって密になつてしまつたということで花火がなかなか打ち上げられませんが、でも、集まらなくてもいいのです。遠くの花火でもいい。みんなが離れていても、同じ花火は見れます。音が聞こえたら、顔を上げ、見てください、花火を。

花火の仕事に就いて、20年。今までに経験したことのない日々を過ごしています。みなさんに声を掛けてもらい、私たち花火師は前へ進んでいきます。私たちもまた、花火にチカラをもらっています。

宮島 秀一



和田の寺社④  
**西善寺**  
(境)



西善寺の仏像はとにかく大きい。本堂の正面に鎮座しているご本尊、阿弥陀如来座像は、2・4メートル。左脇の延命地藏菩薩は3・15メートルと天井板より頭が出ている。そして自慢の「釈迦涅槃図」は縦4・4メートル、横5・1メートルの極彩色、今から280年ほど前に描かれた作品で専門家のあいだでも最大級であるとの事。

又、空誉上人書、「雨乞い名号」(南無阿弥陀佛)は幅1・5メートル。縦6・7メートルと大きい。なぜこのように全てのものが大きいのか。

実はこの仏像達は元々は、元和5年(1619年)、長音上人が松本城主、松平(戸田)丹羽守康長から女鳥羽川畔の敷地6千平方メートルの地を寄進され、この地に念来寺という寺を建立しそのご本尊や什物であったのであるが明治初年に始まった廃仏毀釈よりこのご本尊などが取り壊されそうになった時、当時の和田、境の人達により念来寺の本寺であり幕府領であった西善寺に運び込まれて、その難を逃れたのであります。そして明治、大正、昭和、平成、令和の今日まで和田、境の人達の厚い信仰とこの仏さま達をお守りするという強い熱意によって守護して来られたのであります。

られており感謝に耐えませんが、西善寺の名の由来は、長野の善光寺の西にある善光寺というもので、本堂正面にある阿弥陀如来とは別に、秘仏の善光寺如来(県玉)像があり、その為に正月の七草会には年に一度の本尊御開帳、御印文の授与など、長野の善光寺と同様の行事が行われております。又、秋のお十夜会も境の子供達が皆集まり、楽しく参加されて見ますと、これからこの子供達を将来、この西善寺をお守りしていくと確信し、微笑ましくもあり、たのしく思うところであり嬉しく思います。



七草会

善光寺の名も  
私はこの西善寺の住職をして40年になりますが、住職とは名ばかりでこの西善寺は今でも境の人達の強い信仰によって守

春、秋の彼岸には最大級であるといわれる「釈迦涅槃図」が境内の公民館で拝観することができます。ぜひお参りください。心よりお待ちしております。

西善寺住職 細野 順伸 合掌

**多事争論会開催**

5月24日(月)午後7時〜9時迄、サンプロアルウィン会議室で、臥雲市長・宮之本副市長と多事争論会が行われました。

オンライン参加も可能で、オンラインにて参加しました。「信州まつもと空港の活性化」というテーマで活発な意見交換が行われました。

利用を促進させる事と、河西部地域の騒音などの対策との兼ね合いの難しさを改めて感じました。地域の理解の上、たくさんの人に空港を利用しても利用してもらいたいと思いをいたしました。



会場の様子

当日の様子はYouTube松本市公式チャンネルで公開されています。

この機会に空港と地域の未来について一度考えてみる



市のYouTubeはこちら  
か。遠山

**寄せ植え講座**

6月17日(木)に寄せ植え講座が開催されました。講師は松本市のコンテストでも入賞されている窪田さんです。

今回の講座はサルビアやニチニチソウといった6月から秋頃まで楽しめる植物の寄せ植えを作りました。秋頃まで楽しむためには、やはりお世話が大変。水やりはもちろん、花がらを取り除くなど長持ちさせるのに大切なことも教わりました。



**編集後記**

家の周りの木々も緑を増し暑い夏がやって来ましたが、今年もウォークラリーや夏季スポーツ大会が中止になってしまいました。コロナの終息が見えない中、ワクチン接種の加速が望まれます。安心安全な生活が一日も早く送れます様祈ります。

下和田 塩原